

カヌー・いかだについて

1 事前準備

(1) グループ分けをする

○カヌー1艇あたりの人数 小学生3～4名、中学生以上2～3名
学校の宿泊研修は、小学生4名、中学生以上3名が基本

○いかだ1台あたりの人数 小学生6～8名、中学生以上4～6名（要相談）

(2) 引率者の役割分担をする

○カヌーに乗り、ネイパル職員とともに指導を行う引率者を2名決めておく
それ以外の方は、陸上（浜）から活動状況、人数、体調の把握を随時行う

※できるだけ多くの引率者が、濡れてもよい服装や準備をしておく

2 活動の流れ

(1) ネイパル駐車場（ライフジャケット置き場前）に、かかとのあるサンダルを履いて集合

○着替え、外靴、タオルを野外炊飯場に置く

(2) グループごとに整列

(3) ネイパル職員による説明後、用具準備

(4) 前浜（サロマ湖）へ移動

(5) 活動実施

(6) ネイパル駐車場へ移動

(7) 用具返却

(8) 屋外シャワーで足を洗い、外靴に履き替えた後、施設内に入る

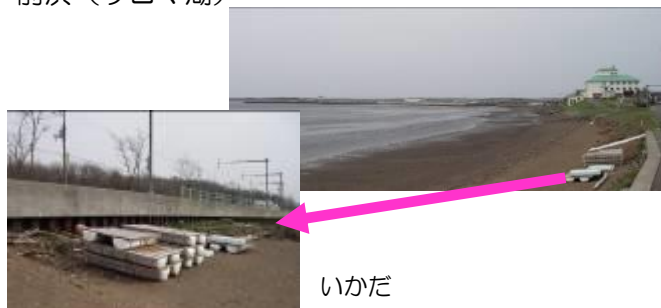
3 活動場所



器具庫内

カヌー・いかだ活動場所

前浜（サロマ湖）



4 用具準備

(1) ライフジャケット

○ライフジャケット置き場から1人1着取り、着用する（※引率者も）

(2) カヌー

○駐車場の空きスペースに、カヌーを移動する

○器具庫からカヌーキャリアを出し、カヌーを載せ、固定用ゴムで固定する



【固定用ゴムの取り外し】

ゴムの伸縮に合わせて金具を持ちながら行う。不用意に外すと、金具が思わぬ方向に飛び、ケガをするおそれがあるので注意！



必ず片側で作業を行う

両側で作業を行うとゴムが飛んでくることもあり危険！

(3) パドル、いす用発泡スチロール

○器具庫からパドルを1人1本ずつ出して、カヌーの中に入れる

○カヌーに3人以上乗る場合、いすの替わりとなる発泡スチロールをカヌーの中へ入れる



パドル



いす用発泡スチロール

5 前浜へ移動（カヌーの運搬）

- (1) 引率者は、カヌー運搬の補助や安全確保を行う
- (2) 浜へ降りる前にカヌーをカヌーキャリアから外す
○カヌーキャリアは歩道の横にまとめて置く
- (3) 浜へ降りる道は、段差があるため特に注意が必要

※小学生や身体の小さな方が、カヌーを運搬する場合は、引率者の補助が必要



6 カヌーやいかだの操作方法の説明

- (1) カヌーやいかだの操作方法や注意事項を聞く

【説明内容】

- カヌーやパドルを引きずったり、ぶつけない
- 水に浮いていない状態でカヌーに乗らない
- 湖で泳がない、カヌーやいかだから落ちない



7 活動実施

- (1) 引率者も指導補助や安全確保を行う
- (2) 天候や波の状況が悪化した場合、活動を中止することがある
- (3) 人数が多い場合は、交替でカヌーやいかだに乗る



8 片付け

- (1) カヌーやいかだを浜にあげ、カヌーの中にパドルを入れる
- (2) カヌーをネイパル駐車場まで運搬する
○引率者は、移動時の安全確保と忘れ物の確認を行う
- (3) カヌーとカヌーキャリアを返却する
- (4) パドル、濡れたライフジャケット、発泡スチロールを洗う
○ライフジャケットは、ハンガーに掛け、チャックを閉めて、ライフジャケット置き場に返却する
※濡れていないライフジャケットは洗わない
- (5) 屋外シャワーで足の汚れや砂などを落とす
- (6) サンドルを脱ぎ、タオルで足をふき、持参した外靴（野外炊飯場に保管）を履く
- (7) 施設内に入る ※玄関が汚れた場合は雑巾（各利用団体が用意）等でふく



9 安全確保のために

- (1) ネイパル職員とともに引率者2名もカヌーに乗り、指導を行う
- (2) 陸上（浜）で活動を見ている引率者も、活動状況、人数、体調の把握を随時行う
- (3) 波や風の状況が悪い、落雷のおそれがある場合は、晴天であってもネイパルの判断で中止にする